



タイトル Title	ソウル市および韓国における教育と青年をめぐる動向(プログラム)
著者 Author(s)	
掲載誌・巻号・ページ Citation	日韓シンポジウム,第3回:
刊行日 Issue date	2015-02-27
資源タイプ Resource Type	Presentation / 会議発表用資料
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
JaLCDOI	
URL	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81010567

日韓シンポジウム

ソウル市および韓国における教育と青年をめぐる動向

～最終案内～

韓国では、教育をめぐる市民運動が大きく展開されています。大学納付金（登録金）に関しては、「全国登録金対策ネットワーク」の結成（2008）、『狂った登録金の国』（韓国大学教育研究所2011）の出版、「半額登録金実現ろうそく集会」の開催（2011）等を経て、ソウル市立大学などで半額化・減額化が進みました。この問題は、首長選挙・国会議員選挙・大統領選挙の争点にもなり、給与型を含む国家奨学金の開始、高校授業料の無償化などへと広がっています。また、市立大学の登録金半額化や市内の高校無償化を進めた、朴元淳（パク・ウォンスン）氏がソウル市長に再選されました（2014年6月）。朴ソウル市政1期目の成果と2期目の課題、韓国における教育と青年をめぐる最新動向を、安珍傑氏（アン・ジンゴル／参与連帯 協同事務処長）、金南権弁護士（キム・ナングン／半額化登録金運動担当弁護士）にご報告いただきます。

ところで、大学等への進学率が90%を越える一方で非正規雇用が拡大している韓国では、成績・履歴アップのスペック競争、過酷な就職競争などが、若者を苦しめています。大学等におけるキャリア形成、若者の移行支援・移行保障（代案学校・代案大学を含む）の状況、若者の夢や悩み葛藤などを、ゲストの青年に話してもらいます。

日時：2015年2月27日（金）午後1時30分～4時30分

場所：神戸大学発達科学部 A棟2階「大会議室」

神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部

（JR六甲道、阪急六甲から市バス36系統「鶴甲団地」行き約15-10分／「発達科学部」下車すぐ）

アクセス：https://www.h.kobe-u.ac.jp/sites/default/files/general_page/map_rokkodai_201404_0.pdf

参加費：無料 / 申込み：事前の申し込みは不要

主催：大学評価学会、神戸大学発達科学部教育科学論コース（渡部研究室）

協力：NPO法人日本希望製作所

次第：（通訳：桔川 純子）

13:00 開場 / 13:30 開会挨拶&趣旨説明（渡部 昭男）

13:40 安 珍傑（アン・ジンゴル／参与連帯 協同事務処長）

「(仮) 韓国・ソウルにおける教育と青年をめぐる動向」

金 南権（キム・ナングン／民主社会のための弁護士会 半額化登録金運動担当弁護士）

「(仮) 半額化登録金運動の成果と課題」

14:50 休憩

15:00 姜 惠珍（カン・ヘジン／崇実大学校学生、大学教育研究会・大学告発運営メンバー）

「(仮) 韓国・ソウルの若者事情」

15:30 意見交換 特別発言 ①兵庫奨学金の会

②全 振瑋（チョン・ジニ／大学教育研究会・大学告発運営者）

16:25 閉会挨拶（大学評価学会共同代表 植田 健男）

連絡先：〒657-8501

神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部／渡部昭男研究室

akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp / TEL/FAX 078-803-7726

参考：①大学評価学会（2013）『高等教育における「無償教育の漸進的導入」——授業料無償化への日韓の動向と連帯』晃洋書房（1400円＋税）。

②日本希望製作所（2011）『まちの起業がどんどん生まれるコミュニティ——ソンミサンマウルの実践から学ぶ』（1000円＋税）

③渡部昭男（2014）「韓国における登録金半額化と大学の在り方——ソウル市立大学を事例に」細川孝編『「無償教育の漸進的導入」と大学界改革』晃洋書房（2500円＋税）

⇒本日のシンポジウム内容は『大学評価学会年報』第 11 号 (2015.7.予定) 晃洋書房に収録予定です。